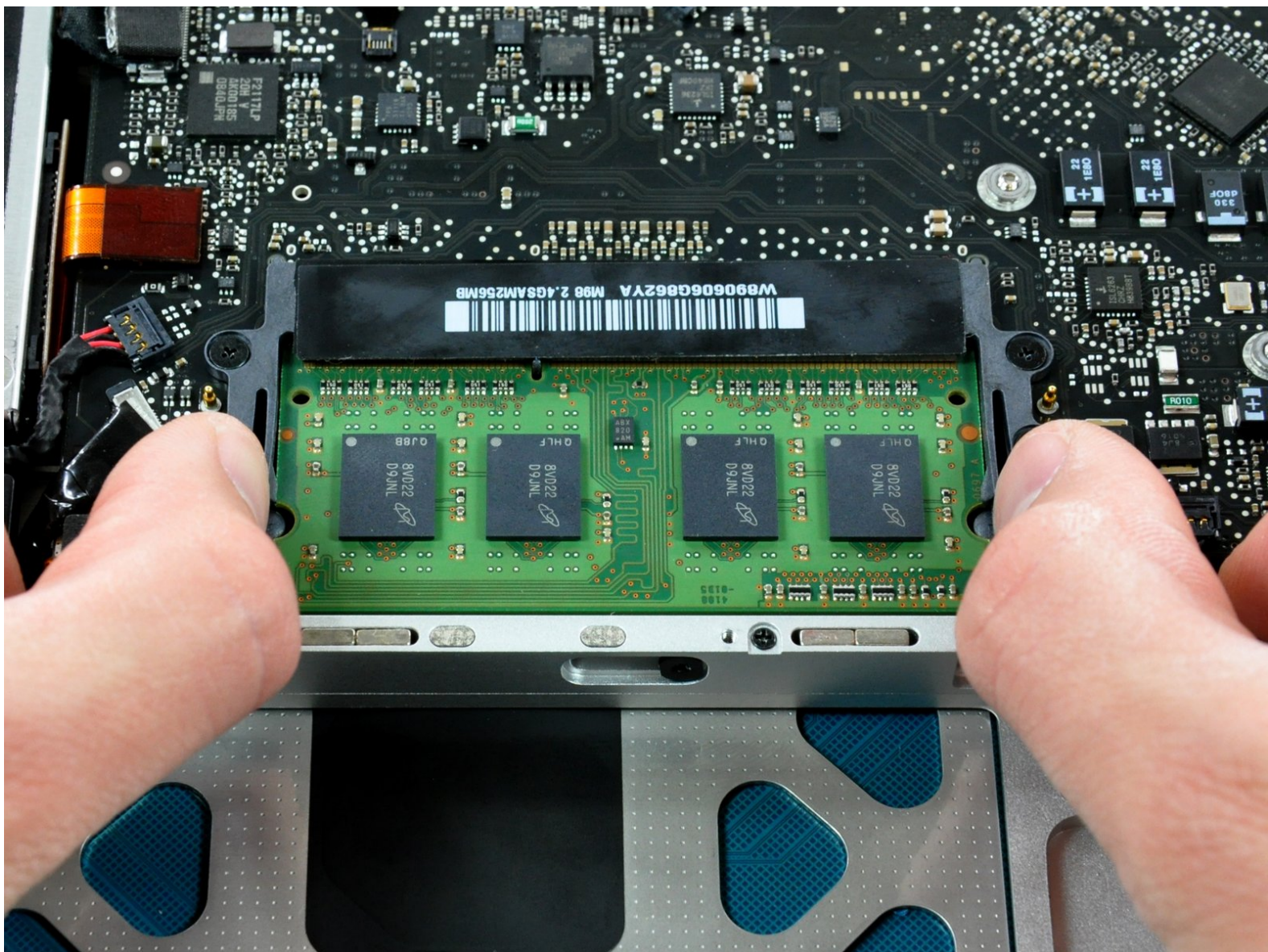




MacBook Pro 15インチ Unibody Late 2008と Early 2009 RAMの交換

作成者: Walter Galan



はじめに

これらのモデルのRAMにアクセスするのは、簡単で解体作業は最小限で済みます。

 ツール: プラススクリュードライバー(#00) (1)	 部品: - MacBook Pro 15" Unibody Late 2008 and Early 2009 Memory Maxxer RAM Upgrade Kit (1) - PC3-8500 2 GB RAMチップ (1) - PC3-8500 1 GB RAMチップ (1) - PC3-8500 4 GB RAMチップ (1)
---	---

手順 1 — アクセスドア



- ケースを閉じた状態で、平らな作業台の上にUnibodyの上部を下側に向けて配置します。
- アクセスドアの取り外しラッチの溝のある側を押して、飛び出した側の先端を掴んでください。取り出しラッチを垂直になるまで持ち上げます。

手順 2



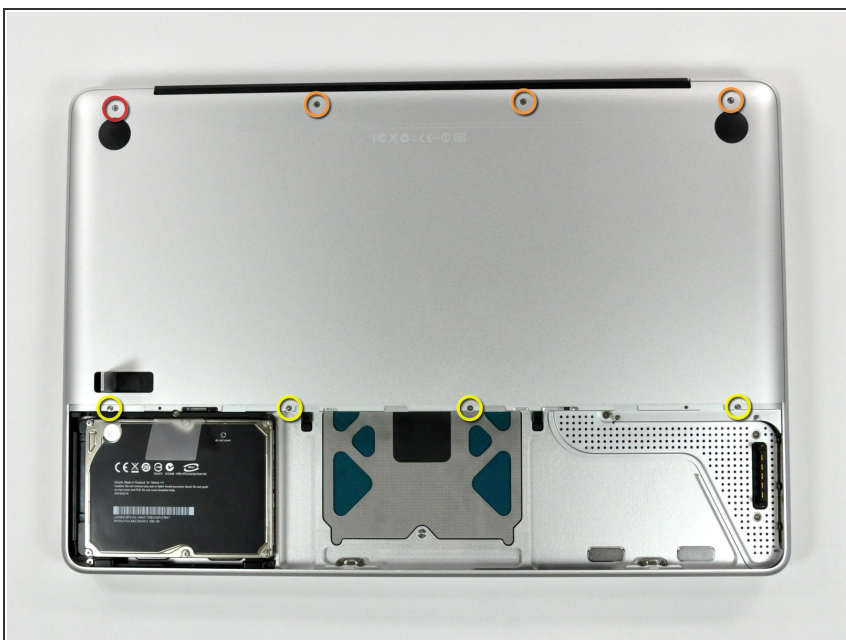
- アクセスドアがUnibodyから十分の高さまで持ち上がるはずです。

手順 3 — バッテリー



- ① 次の手順に進む前に、アクセスドアの取り外しラッチが垂直になっているか確認してください。
- 半透明のプラスチックタブを掴んで、バッテリーをUnibodyから引き上げます。
- ラッチが押されると、バッテリーが所定の位置にロックされます。

手順 4 — 下部ケース



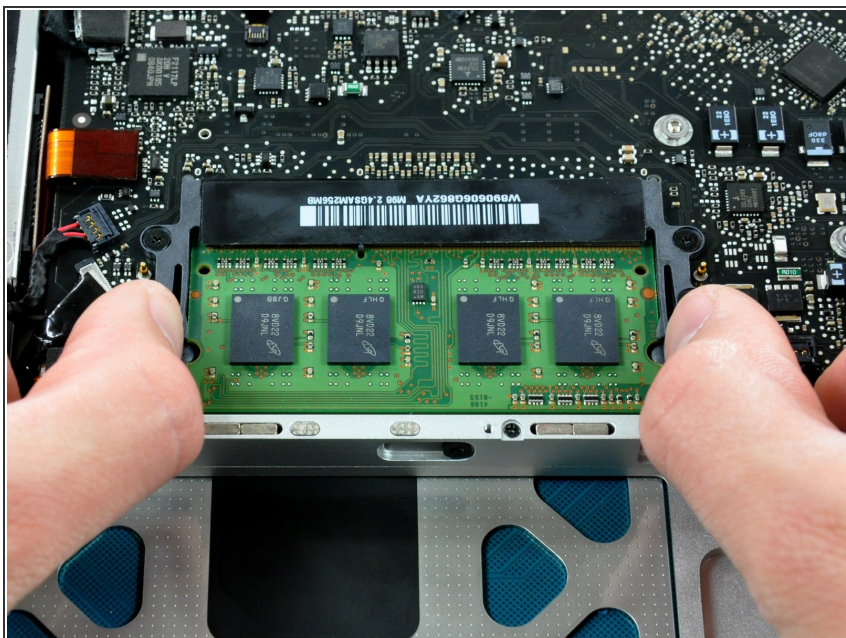
- 下部ケースにカシス(筐体)を固定している次の8本のネジを外します。
- 5.4 mm プラスネジ 1本
- 14 mm プラスネジ 3本
- 3.5 mm プラスネジ 4本

手順 5



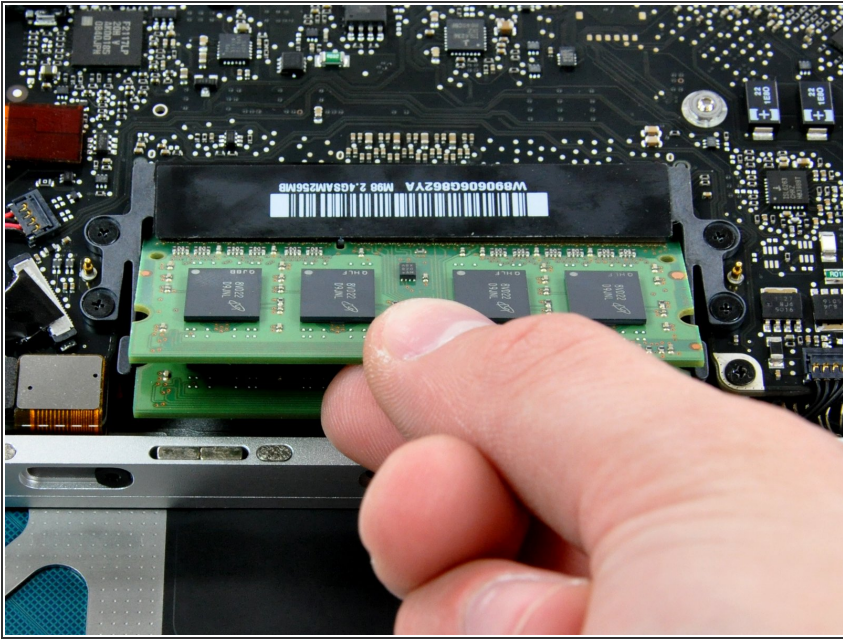
- 両手を使って、上部ケースから下部ケースを持ち上げて取り出します。

手順 6 — RAM



- チップ両側に付いたタブを同時に押し出して、RAMから外します。
- ❶ これらのタブがチップを固定しており、タブを外すと、チップが"飛び出します"。

手順 7



- RAMチップを外せたら、ソケットからまっすぐ引き抜きます。
- ① 2番目のRAMチップがある場合は、同じ手順を繰り返してください。

デバイスを再組み立てする際は、これらの手順を逆の順番に従って作業を進めてください。